



DeviceXPlorer OPC Server

ユーザーズガイド

Ver.5 から Ver.7 への変更手順

Revision 1

Sep 2025

Contents

1 概要.....	3
1.1 変更点.....	3
1.2 新機能.....	3
1.3 注意事項.....	3
2 変更点の詳細と置き換え手順.....	4
2.1 製品ラインナップ	4
2.2 ライセンスプロテクト方式	6
2.3 OPC Classic サーバー機能.....	7
2.4 OPC UA サーバーインターフェース.....	8
2.5 SuiteLink サーバー インターフェース	9
2.6 DDE 通信のサポート終了	10
2.7 製品アーキテクチャ.....	11
2.7.1 ソフトウェア構成の変更点	11
2.7.2 共通プロパティの変更点.....	13
2.7.3 プロジェクトエクスプローラの変更点	15
2.7.4 ログの変更点	16
2.8 接続性の拡張.....	19
3 新機能の詳細.....	20
3.1 IoT インターフェース	20
3.1.1 MQTT インターフェース	20
3.1.2 HTTP インターフェース	20
3.2 OPC UA サーバーインターフェース.....	21
3.2.1 OPC UA Historical Access.....	21
3.2.2 OPC UA Alarms and Conditions.....	21
3.2.3 OPC UA Reverse Connect	21

1 概要

このドキュメントはデバイスエクスプローラ OPC サーバーの Ver.5 から Ver.7 への置き換え時の注意点について説明したものです。

注意事項

Ver.5 と Ver.7 ではライセンスの取り扱いが異なるため、ライセンスの移行が必要となります。Ver.5 から Ver.7 へのライセンスの移行については購入元にお問い合わせください。

1.1 変更点

主な変更点は次の通りです。

No.	変更点	参照
1	製品ラインナップ	2.1
2	ライセンスプロテクト方式	2.2
3	OPC クラシックサーバー機能の Prog.ID • OPC Data Access サーバー機能:Takebishi.Dxp.5 → Takebishi.Dxp.7 • OPC Alarms and Events サーバー機能:Takebishi.DxpAe.5 → Takebishi.DxpAe.7	2.3
4	OPC UA サーバー機能のデフォルトポート番号: 52210 → 52250	2.4
5	SuiteLink サーバー機能のアプリケーション名: DXPV5 → DXPV7	2.5
6	DDE 通信のサポート終了	2.6
7	製品アーキテクチャ • ソフトウェア構成 • 共通プロパティ • プロジェクトエクスプローラ • ログの仕様	2.7
8	接続性の拡張	2.8

1.2 新機能

主な新機能は次の通りです。

No.	新機能	参照
1	IOT インターフェース(MQTT、HTTP)に対応(プロフェッショナルエディションのみ) • MQTT インターフェース • HTTP インターフェース	3.1
2	OPC UA サーバー機能を拡張 • OPC UA Historical Accesses (プロフェッショナルエディションのみ) • OPC UA Alarms and Conditions (プロフェッショナルエディションのみ) • OPC UA Reverse Connect	3.2

上記以外の新機能についても定期的なバージョンアップで機能が追加されることもあるため、実際にはより多くの新機能が含まれる場合があります。

1.3 注意事項

- Ver.5 と Ver.7 ではライセンスの取り扱いが異なるため、ライセンスの移行が必要となります。Ver.5 から Ver.7 へのライセンスの移行については購入元にお問い合わせください。
- デバイスエクスプローラ OPC サーバーのプロジェクトファイル(*.dxp) は Ver.5 と Ver.7 間で互換性があります。
- 共通プロパティ設定と DCOM 設定は再設定する必要があります。
- Ver.5 と Ver.7 はメジャーバージョンが異なるため、同一 PC 上で同時にインストールすることができます。
しかし、Ver.7 への移行完了後は Ver.5 をアンインストールすることを推奨します。

2 変更点の詳細と置き換え手順

2.1 製品ラインナップ

Ver.5 と Ver.7 での製品ラインナップの違いは次の通りです。

Ver.5 製品ラインナップ

製品名	適用 PLC	型式	備考
DXPSV エンタープライズ OPC サーバー	OPC サーバー対応の全機種	DXPSVENT	- エンタープライズライセンス - 全機種アクセス可能
DXPSV MELSEC OPC サーバー	三菱電機 MELSEC-iQ-R/ iQ-F/Q/L/FX/QnA/A シリーズ、 XPSVENTGOT	DXPSVMEL	- スタンダードライセンス - 1 機種のみアクセス可能
DXPSV SYSMAC OPC サーバー	オムロン SYSMAC-NJ/CJ/CS/ CP/CV/C シリーズ	DXPSVSYS	- スタンダードライセンス - 1 機種のみアクセス可能
DXPSV TOYOPUC OPC サーバー	ジェイテクト TOYOPUC-PC10/ PC3J/PC2J シリーズ	DXPSVTYP	- スタンダードライセンス - 1 機種のみアクセス可能
DXPSV FA-M3 OPC サーバー	横河電機 FA-M3V/FA-M3(R) シリーズ	DXPSVFAM	- スタンダードライセンス - 1 機種のみアクセス可能
DXPSV HIDIC OPC サーバー	日立産機 EH/H シリーズ	DXPSVHID	- スタンダードライセンス - 1 機種のみアクセス可能
DXPSV SATELLITE OPC サーバー	シャープ サテライト JW シリーズ	DXPSVSTL	- スタンダードライセンス - 1 機種のみアクセス可能
DXPSV MICREX OPC サーバー	富士電機 MICREX-SX/F シリーズ	DXPSVMRX	- スタンダードライセンス - 1 機種のみアクセス可能
DXPSV FP OPC サーバー	パナソニック FP-X/FP2 シリーズ	DXPSVPFP	- スタンダードライセンス - 1 機種のみアクセス可能
DXPSV MP OPC サーバー	安川電機 MP シリーズ (MEMOBUS 対応)	DXPSVYMP	- スタンダードライセンス - 1 機種のみアクセス可能
DXPSV KV OPC サーバー	キーエンス KV シリーズ	DXPSVKV	- スタンダードライセンス - 1 機種のみアクセス可能
DXPSV AB OPC サーバー	ロックウェル AB ControlLogix (EtherNet/IP 対応)	DXPSVALB	- スタンダードライセンス - 1 機種のみアクセス可能
DXPSV SIMATIC OPC サーバー	シーメンス SIMATIC-S7 シリーズ	DXPSVSMT	- スタンダードライセンス - 1 機種のみアクセス可能
DXPSV LSIS OPC サーバー	LS 産電 XGT シリーズ	DXPSVLSI	- スタンダードライセンス - 1 機種のみアクセス可能
DXPSV CPL OPC サーバー	アズビル(CPL)プロトコル	DXPSVCPL	- スタンダードライセンス - 1 機種のみアクセス可能
DXPSV MODBUS OPC サーバー	MODBUS/TCP MODBUS/RTU MODBUS/ASCII	DXPSVMDB	- スタンダードライセンス - 1 機種のみアクセス可能
DXPSV FANUC OPC サーバー	ファナック PMC シリーズ	DXPSVGFC	- スタンダードライセンス - 1 機種のみアクセス可能
DXPSV RCC OPC サーバー	川崎重工業 ロボットコントローラ	DXPSVKRC	- スタンダードライセンス - 1 機種のみアクセス可能
DXPSV YSR OPC サーバー	安川電機 ロボットコントローラ	DXPSVYSR	- スタンダードライセンス - 1 機種のみアクセス可能

DXPSV OPCDA OPC サーバー	(OPCDA3.0/2.05A)	DXPSVOPC	- スタンダードライセンス - 1 機種のみアクセス可能
-------------------------	------------------	----------	---------------------------------

※ 全てのエディションで OPC Classic (Data Access, Alarms and Events) サーバー機能に対応しています。

Ver.7 製品ラインナップ

製品名	製品形態	型式	備考
DxpSERVER V7 プロフェッショナル OPC サーバー	買い切り [HW キー版]	DXPV7PR-HW	<ul style="list-style-type: none"> - 全機種アクセス可能 - OPC UA (Data Access) サーバー機能 - OPC UA (Historical Access) サーバー機能 - OPC UA (Alarms and Conditions) サーバー機能 - MQTT インターフェース - HTTP インターフェース
	買い切り [SW キー版]	DXPV7PR-SW	
	サブスクリプション [SW キー版]	DXPV7PR-SS	
DxpSERVER V7 マルチ OPC サーバー	買い切り [HW キー版]	DXPV7ML-HW	<ul style="list-style-type: none"> - 全機種アクセス可能 - OPC UA (Data Access) サーバー機能 <p>本エディションは Ver.5 のエンタープライズライセンスと同等の機能性です。</p>
	買い切り [SW キー版]	DXPV7ML-SW	
DxpSERVER V7 シングル OPC サーバー	買い切り [HW キー版]	DXPV7SG-HW	<ul style="list-style-type: none"> - 1 機種のみアクセス可能 - OPC UA (Data Access) サーバー機能 <p>本エディションは Ver.5 のスタンダードライセンスと同等の機能性です。</p>
	買い切り [SW キー版]	DXPV7SG-SW	

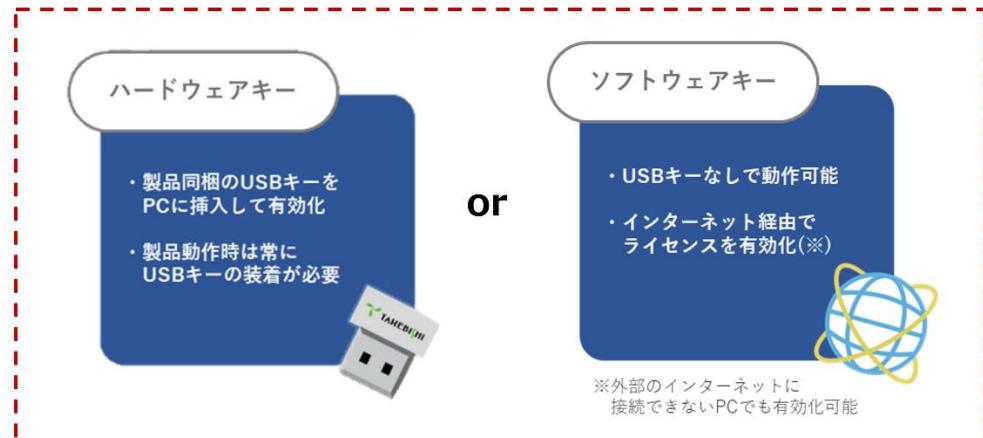
※ Ver.7 では全てのエディションで OPC UA (Data Access) / OPC Classic (Data Access, Alarms and Events) のサーバー機能を使用することができます。

2.2 ライセンスプロテクト方式

製品ラインナップの変更に伴いライセンスプロテクト強化の観点からライセンスプロテクト方式が変更になっています。
Ver.7 では、各エディションに対してライセンス形態/プロテクト方式が 2 種類あります。

シリアル番号(9桁-8桁)

+



ライセンス形態	キータイプ	特徴
買い切り	HW キー(ハードウェアキー)	<ul style="list-style-type: none">専用 USB キーを PC に挿入して有効化製品動作時は常に USB キーの装着が必要
買い切り	SW キー(ソフトウェアキー)	<ul style="list-style-type: none">USB キーなしで動作可能インターネット経由でライセンスを有効化(※)
サブスクリプション (更新は年単位)	SW キー(ソフトウェアキー)	<ul style="list-style-type: none">USB キーなしで動作可能インターネット経由でライセンスを有効化更新時にライセンスの有効化作業が必要

2.3 OPC Classic サーバー機能

OPC Classic サーバー機能の Prog.ID が変更になりました。

インターフェース	Ver.5	Ver.7	備考
OPC Data Access サーバー	Takebishi.Dxp.5	Takebishi.Dxp.7	バージョン指定なしの Prog.ID である「Takebishi.Dxp」を使用している場合は、そのままご利用頂けます。
OPC Alarms and Events サーバー	Takebishi.DxpAe.5	Takebishi.DxpAe.7	バージョン指定なしの Prog.ID である「Takebishi.DxpAe」を使用している場合は、そのままご利用頂けます。

2.4 OPC UA サーバーアンターフェース

OPC UA サーバーアンターフェースのデフォルトのポート番号を変更しました。

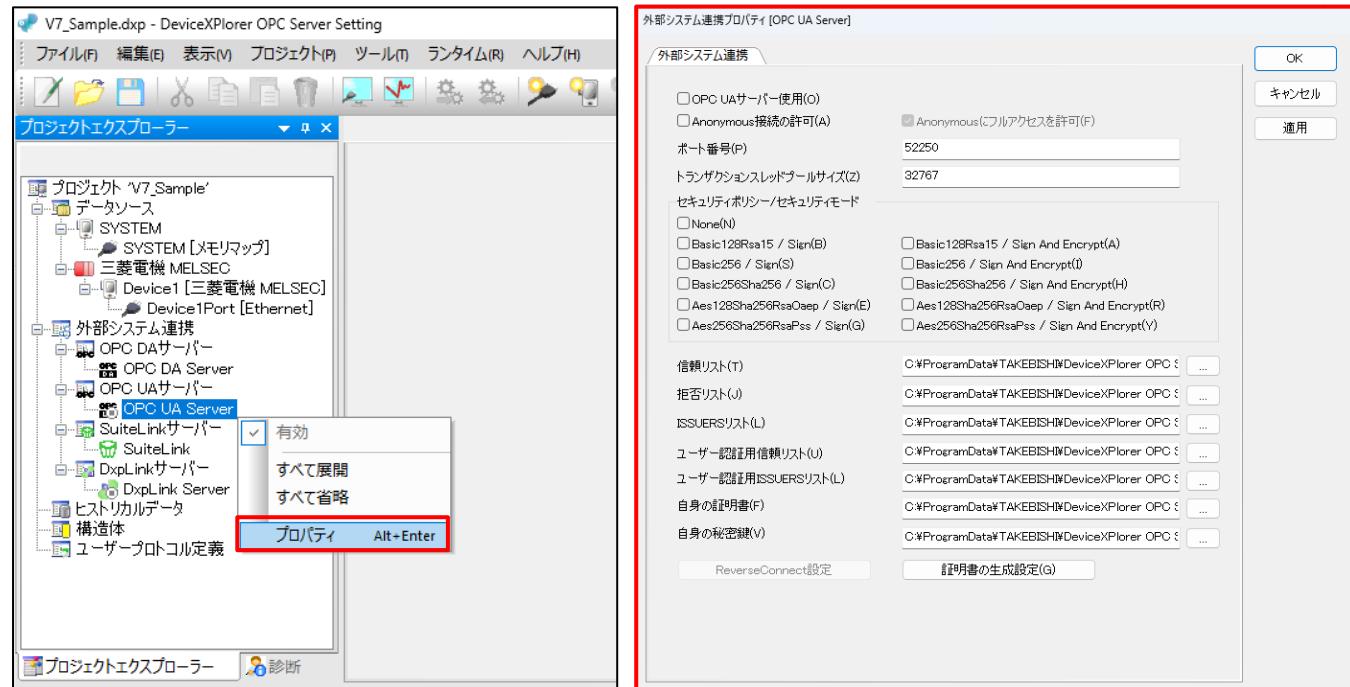
また、OPC UA サーバーに関する詳細な設定を行えるようになりました。

OPC UA 通信の際に必要であった証明書生成に OPC UA Configuration ツールが不要になりました。

インターフェース	Ver.5	Ver.7	備考
OPC UA サーバー	52210	52250	OPC UA サーバー設定からポート番号は変更することができます。※

Ver.7:

現在の設定はプロジェクトエクスプローラ内の OPC UA Server のプロパティから確認することができます。



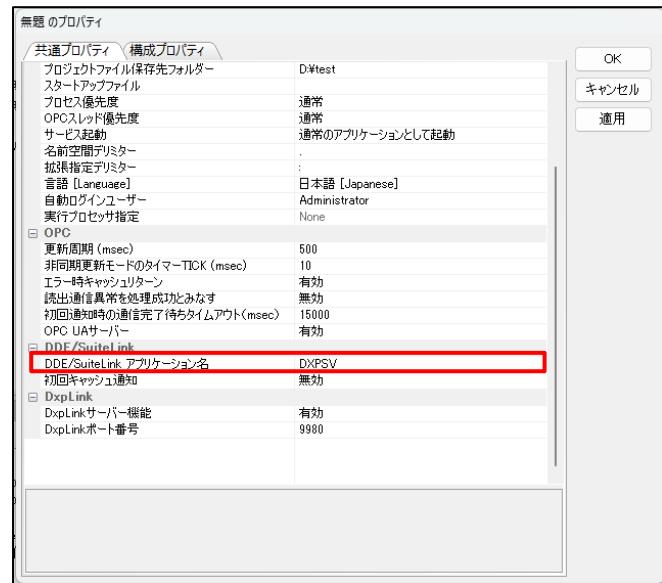
2.5 SuiteLink サーバー インターフェース

SuiteLink サーバーのデフォルトのアプリケーション名が変更になりました。

インターフェース	Ver.5	Ver.7	備考
SuiteLink サーバー	DXPSV	DXPV7	アプリケーション名は共通プロパティから変更できます。

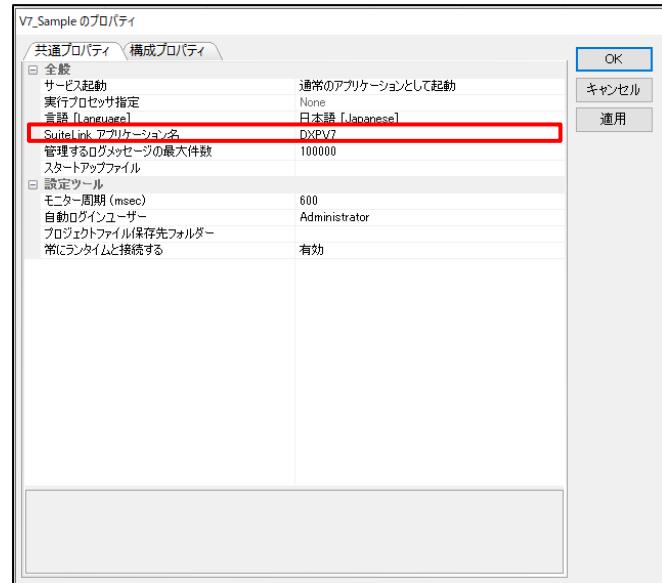
Ver.5:

現在の設定は共通プロパティから確認することができます。



Ver.7:

現在の設定は共通プロパティから確認することができます。



Notes

この変更は AVEVA SuiteLink (Wonderware SuiteLink) をご利用のユーザーのみ影響があります。

2.6 DDE 通信のサポート終了

DDE通信をサポートしているクライアント製品との通信ドライバとして使用できなくなります。

例) EXCELとのDDE通信(セルの数式による値読み出し)

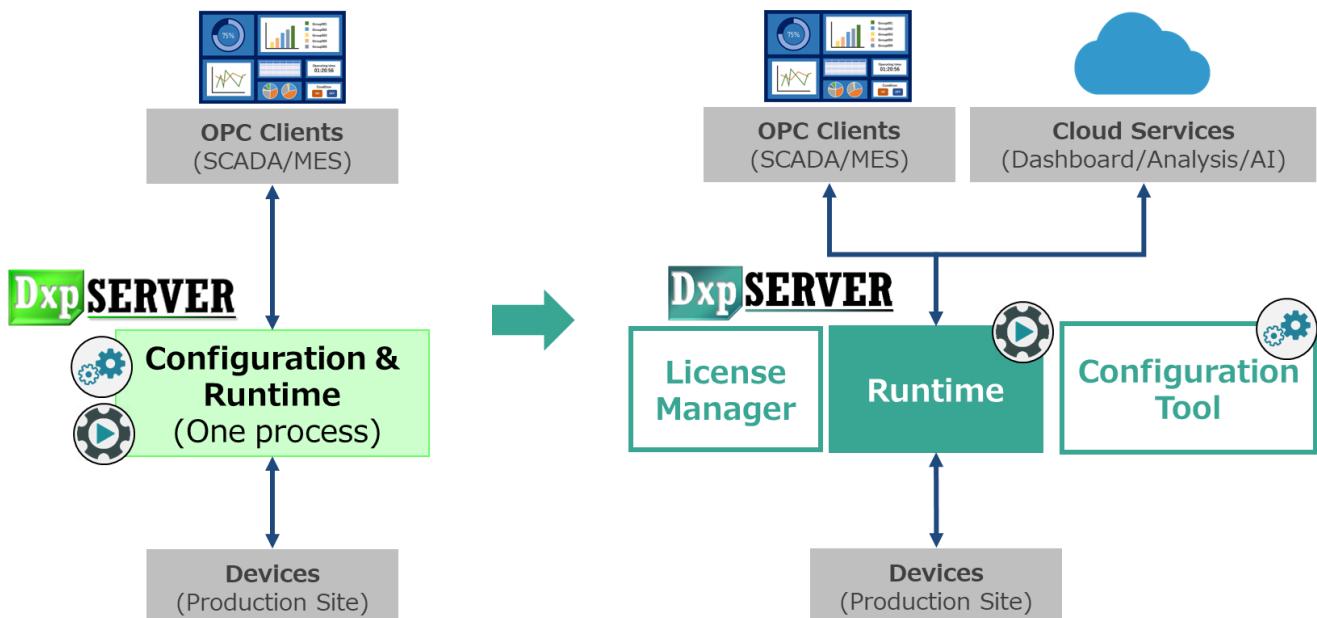
InTouchとのDDE通信

2.7 製品アーキテクチャ

2.7.1 ソフトウェア構成の変更点

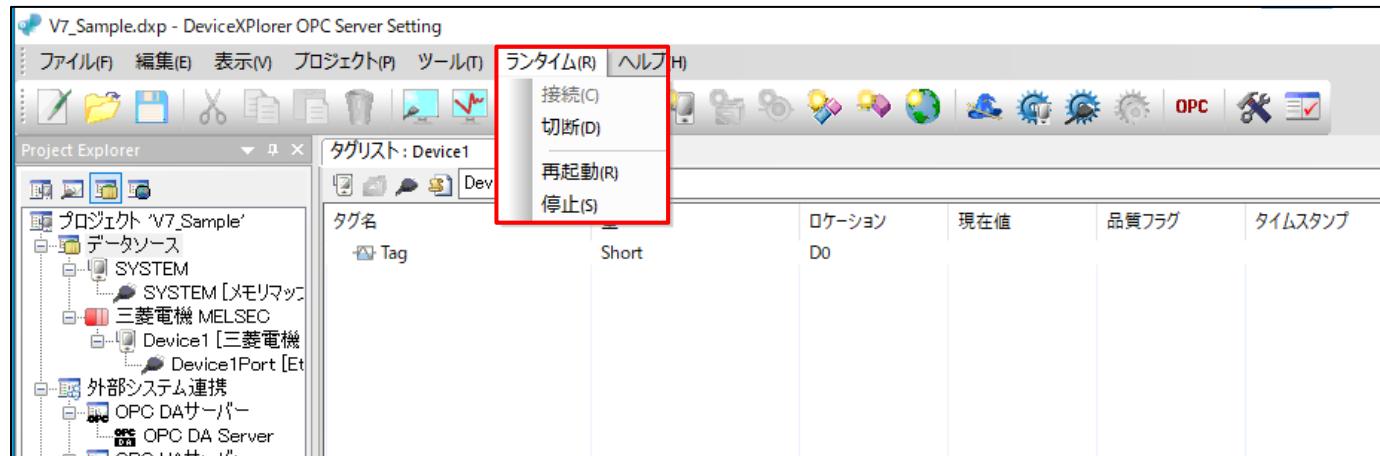
ソフトウェア構成が変更になりました。

Ver.5	Ver.7	備考
DeviceXPlorer.exe (DeviceXPlorer OPC Server)	DeviceXPlorer_Setting.exe (DeviceXPlorer OPC Server Setting)	デバイスエクスプローラ OPC サーバーの設定ツールです。
	DeviceXPlorer_Runtime.exe (DeviceXPlorer OPC Server Runtime)	ランタイムアプリケーション。 機器や OPC クライアントアプリケーションと通信を行ないます。 プロセスとして動作させるか Windows のサービスアプリケーションとして動作させるか設定することができます。
	DeviceXPlorer_LicenseManager.exe (DeviceXPlorer OPC Server 7 License Manager)	Windows のサービスアプリケーションとして動作しライセンスやログの管理を行います。



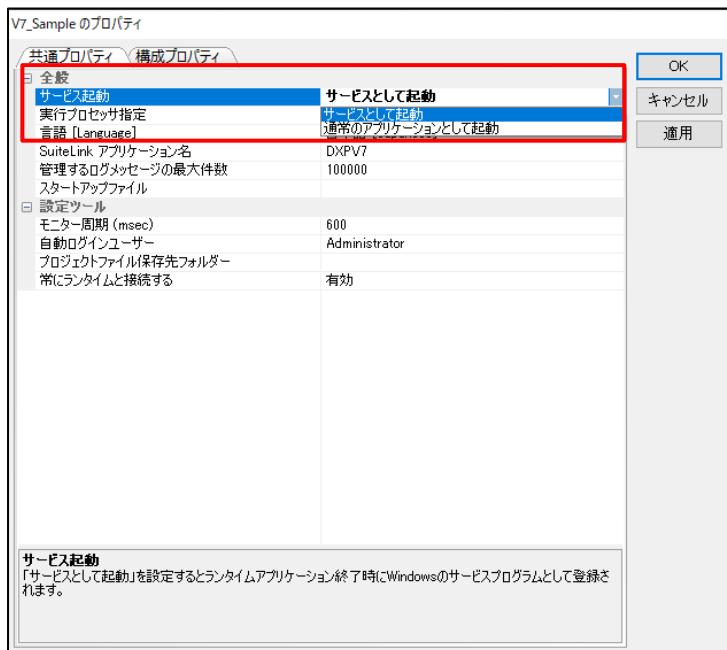
設定ツールを起動するとプロセスとしてランタイムアプリケーションが起動されます。

設定ツールの[Runtime] メニューからランタイムアプリケーションを接続/切断/再起動/停止することができます。



共通プロパティからランタイムアプリケーションをプロセスとして起動するか Windows サービスアプリケーションとして起動するか設定することができます。

※ この設定を変更するには事前に設定ツールを「管理者として実行」のメニューから起動し、ランタイムを再起動する必要があります。



ランタイムアプリケーションをサービスアプリケーションとして動作するには上記の手順で設定ツール/ランタイム共に管理者権限を持つ必要があります。権限の状態はタスクマネージャーから確認することができます。

Name	PID	Status	User name	CPU	Memory (a...)	Archite...	Elevated	Description
DeviceXPlorer_LicenseManager.exe	23756	Running	SYSTEM	00	4,372 K	x86	Yes	DeviceXPlorer...
DeviceXPlorer_Runtime.exe	15580	Running	Yoshito.Kis...	00	16,896 K	x86	No	DeviceXPlorer...
DeviceXPlorer_Setting.exe	15696	Running	Yoshito.Kis...	00	63,428 K	x86	Yes	DeviceXPlorer...
DiagsCap.exe	3356	Running	SYSTEM	00	244 K	x64	Yes	DiagsCap.exe

注意事項

OPC Classic インターフェース使用時は、ランタイムアプリケーションの起動方式に応じた適切な Windows の DCOM 設定が必要となります。

2.7.2 共通プロパティの変更点

共通プロパティの設定箇所が一部 Ver.7 では変更となりました。

全般	Ver.7
ポートの自動 Close	構成プロパティ
非同期要求の最大受付数（共通）	構成プロパティ
非同期要求の最大受付数(opc)	opc DA サーバー
非同期要求の最大受付数(SuiteLink)	SuiteLink サーバー
プロトコルタイマー TICK (msec)	プロジェクト
モニター周期 (msec)	共通プロパティ
プロジェクトファイル保存先フォルダー	共通プロパティ
スタートアップファイル	共通プロパティ
プロセス優先度	構成プロパティ
サービス起動	共通プロパティ(変更なし)
名前空間デリミタ	構成プロパティ
拡張指定デリミタ	構成プロパティ
言語[Language]	共通プロパティ
自動ログインユーザー	共通プロパティ
実行プロセッサ指定	共通プロパティ

OPC	Ver.7
更新周期 (msec)	プロジェクトエクスプローラの OPC DA サーバー
非同期更新モードのタイマー TICK (msec)	プロジェクトエクスプローラの OPC DA サーバー
エラー時キャッシュリターン	プロジェクトエクスプローラの OPC DA サーバー
読み出通信異常を処理成功とみなす	プロジェクトエクスプローラの OPC DA サーバー
初回通知時の通信完了待ちタイムアウト	プロジェクトエクスプローラの OPC DA サーバー
opc UA サーバー設定	プロジェクトエクスプローラの OPC DA サーバー
opc UA クライアント設定	opc UA Client のポート設定
opc UA パブリッシャー設定	プロジェクトエクスプローラの OPC UA サーバー

SuiteLink	Ver.7
SuiteLink アプリケーション名	プロジェクトエクスプローラの SuiteLink サーバー
初回キャッシュ通知	プロジェクトエクスプローラの SuiteLink サーバー

DxpLink	Ver.7
DxpLink サーバー機能	プロジェクトエクスプローラの DxpLink サーバー
DxpLink ポート番号	プロジェクトエクスプローラの DxpLink サーバー

共通プロパティ:

<p>V5_Sample のプロパティ</p> <p>共通プロパティ 構成プロパティ</p> <p>□ 全般</p> <p>ポートの自動クローズ CLOSEする 非同期要求の最大受付数(共通) 1000 非同期要求の最大受付数(OPC) 1000 非同期要求の最大受付数(DDE/SuiteLink) 10000 プロトコルタイマーTICK (msec) 10 モニター周期 (msec) 600 プロジェクトファイル保存先フォルダー スタートアップファイル プロセス優先度 通常 OPCリスト優先度 通常 サービス起動 名前空間デリミター 拡張指定デリミター 言語 [Language] 日本語 [Japanese] 自動ログインユーザー Administrator 実行プロセスサ指定 None</p> <p>□ OPC</p> <p>更新周期 (msec) 500 非同期更新モードのタイマーTICK (msec) 10 エラー時キャッシュリマーン 有効 読み出し軽量属性を処理成功とみなす 無効 初回通信時の通信完了待ちタイムアウト(msec) 15000 OPC UAサーバー 有効</p> <p>□ DDE/SuiteLink DDE/SuiteLink アプリケーション名 DXPSV</p>	<input type="button" value="OK"/> <input type="button" value="キャンセル"/> <input type="button" value="適用"/>
Ver.5	

<p>V7_Sample のプロパティ</p> <p>共通プロパティ 構成プロパティ</p> <p>□ 全般</p> <p>サービス起動 通常のアプリケーションとして起動 実行プロセスサ指定 None 言語 [Language] 日本語 [Japanese] SuiteLink アプリケーション名 DXPV7 管理するログメッセージの最大件数 100000 スタートアップファイル</p> <p>□ 設定ツール</p> <p>モニター周期 (msec) 600 自動ログインユーザー Administrator プロジェクトファイル保存先フォルダー 常にランタイムと接続する 有効</p>	<input type="button" value="OK"/> <input type="button" value="キャンセル"/> <input type="button" value="適用"/>
Ver.7	

構成プロパティ:

<p>V5_Sample のプロパティ</p> <p>共通プロパティ 構成プロパティ</p> <p>□ 全般</p> <p>リフレクトポート 書き込み完了後にキャッシュ値に反映する 書込処理の優先度 有効 クライアント単位削除 無効 マルチアクセスモード 有効 非同期更新モード 有効 同期・非同期のマルチアクセス化 無効 書込最適化方式 書込キューの負荷軽減 書込キューの負荷軽減 有効 シミュレーション最大値 100 シミュレーション周期(msec) 1000 非有理数の書き込み 許可しない 品質BADのタグのフリッジをスキップする スキップしない システムタグ(統計情報)のリセット (設定なし) スクriptのガベージコレクション 5000</p> <p>□ GUI</p> <p>GUI書込操作 書込を許可する 現在値表示クリア クリアしない タスクトレイの最大表示行数 収納しない 未登録アイテムIDの使用可否 1000 アイテムの自動登録 使用可 システムタグの表示 登録しない 起動時のウインドウ 隠す COM起動時のウインドウ 前回起動時の状態で開く ログ 最小化で開く</p>	<input type="button" value="OK"/> <input type="button" value="キャンセル"/> <input type="button" value="適用"/>
Ver.5	

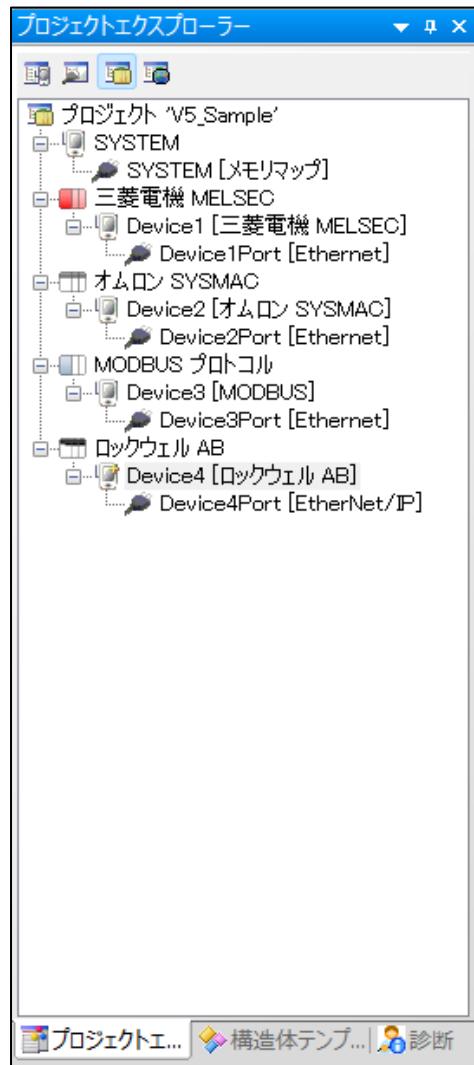
<p>V7_Sample のプロパティ</p> <p>共通プロパティ 構成プロパティ</p> <p>□ 全般</p> <p>リフレクトポート 書き込み完了後にキャッシュ値に反映する 書込処理の優先度 有効 クライアント単位削除 無効 マルチアクセスモード 有効 同期・非同期のマルチアクセス化 無効 マルチアクセス化する同期・非同期処理 Read/Write 書込最適化方式 書込キューの負荷軽減 書込キューの負荷軽減 有効 シミュレーション最大値 100 シミュレーション周期(msec) 1000 非有理数の書き込み 許可しない 品質BADのタグのフリッジをスキップする スキップしない システムタグ(統計情報)のリセット (設定なし) スクriptのガベージコレクション 5000 ポートの自動クローズ CLOSEする 非同期要求の最大受付数(共通) 1000 プロトコルタイマーTICK (msec) 10 プロセス優先度 通常 名前空間デリミター 拡張指定デリミター</p> <p>□ GUI</p> <p>GUI書込操作 書込を許可する 現在値表示クリア クリアしない タスクトレイ 収納しない</p>	<input type="button" value="OK"/> <input type="button" value="キャンセル"/> <input type="button" value="適用"/>
Ver.7	

2.7.3 プロジェクトエクスプローラの変更点

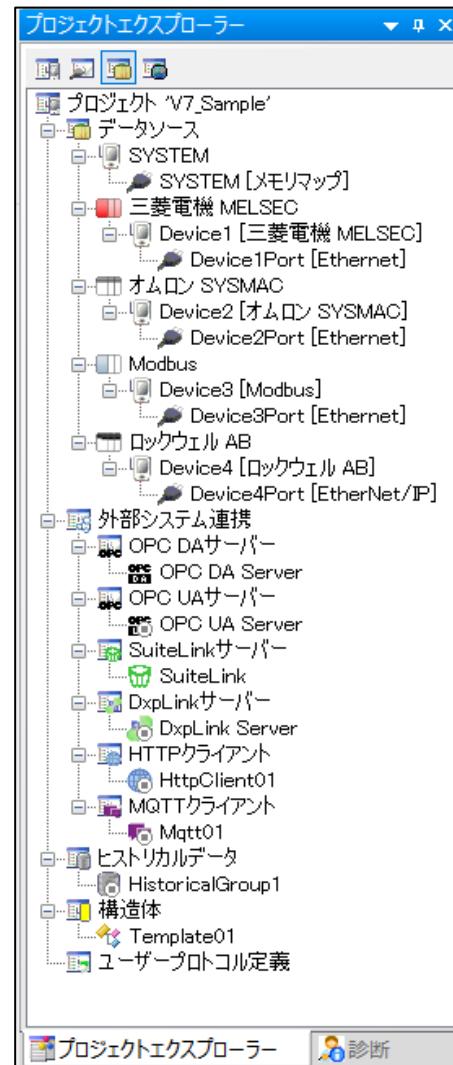
Ver.7 のプロジェクトエクスプローラでは接続先の設定だけでなく、外部システム連携の設定ができるようになりました。

- 「構造体テンプレート」タブが削除され、プロジェクトエクスプローラに統合されました。
- OPC サーバー設定などいくつかの設定項目が共通プロパティからプロジェクトエクスプローラへ移動しています。

Ver.5:

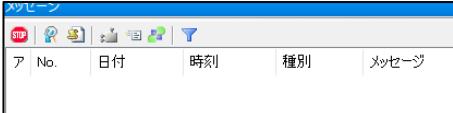
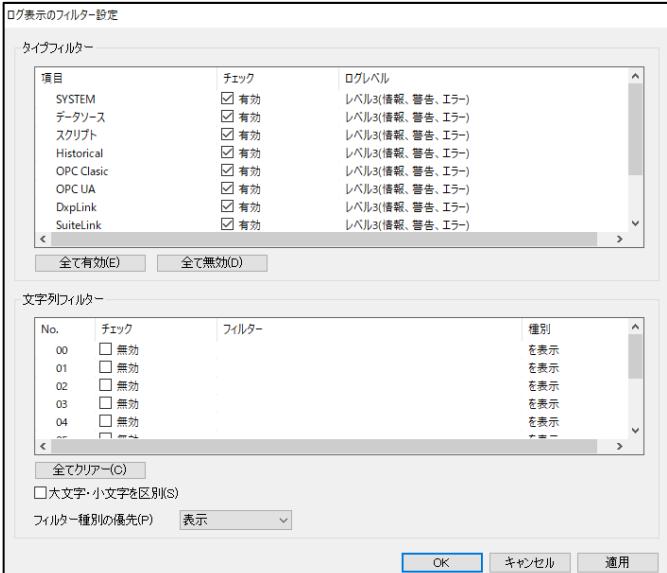


Ver.7:

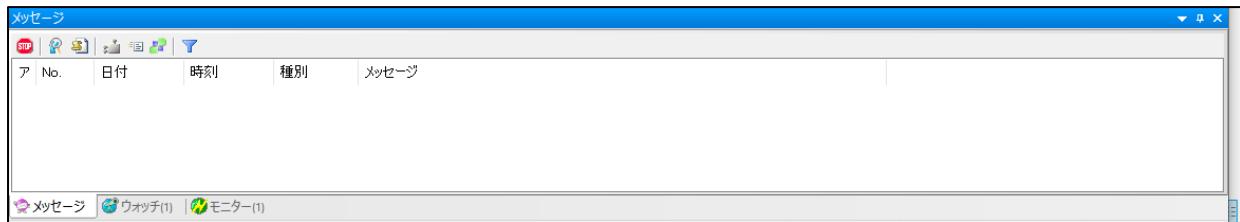
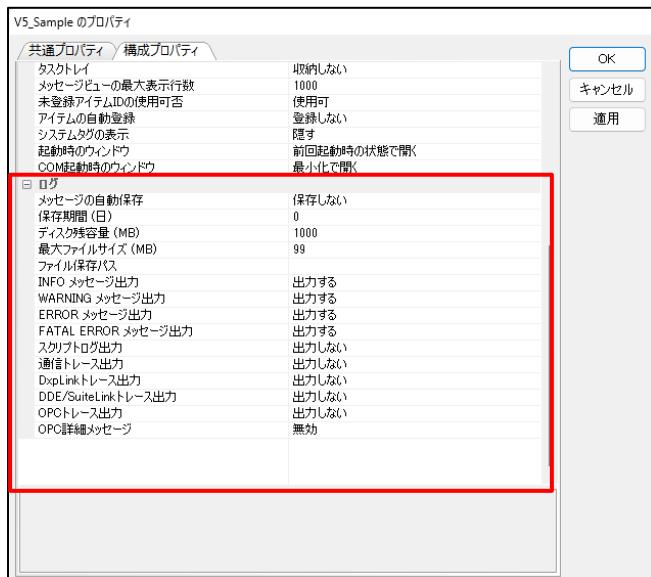


2.7.4 ログの変更点

ログの変更点は次の通りです。

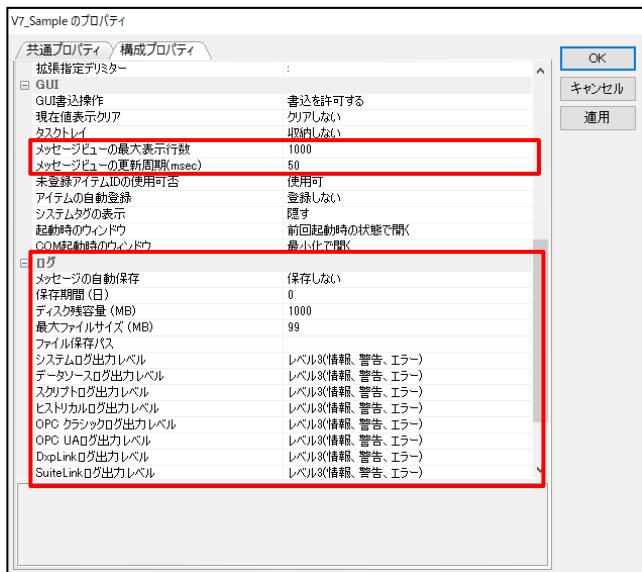
項目	Ver.5	Ver.7
概要	ログファイルの出力設定とメッセージビューでの表示設定の2つの設定がありますが、2つの設定には関係ありません。	ログメッセージは構成プロパティのログ出力レベルに従って、内部のログデータベースに保存され、ログファイルに出力されます。 また、メッセージビューにはログデータベースに保存されたログメッセージを表示するため、過去のログメッセージを遡って確認することもできます。
共通プロパティ	該当なし	内部ログデータベース設定 • 内部ログデータベースに保存するメッセージ数は「管理するログメッセージの最大件数」で指定します。
構成プロパティ	ログ出力設定 • ログメッセージの種類毎に出力するかどうかだけ指定できます。	ログ出力設定 • ログメッセージの種類毎に出力レベルを指定できます。 • メッセージビューの更新間隔を指定する「メッセージビューの更新周期(ms)」を追加しました。
メッセージビュー	各ログアイコンからメッセージビューに表示する出力メッセージを切り替えます。 メッセージビュー: 	ログフィルターを使用してメッセージビューに表示するログメッセージをフィルタします。 メッセージビュー:  ログフィルター:  メッセージビューの「クリア」メニューはメッセージビューからログメッセージを一時的に削除するために使用され、設定ツールを再起動したタイミングや、フィルタ設定を変更のタイミングで、ログメッセージは再び表示されます。

Ver.5:
構成プロパティ

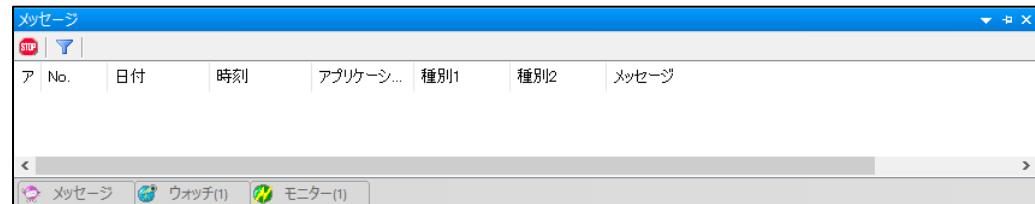


Ver.7:

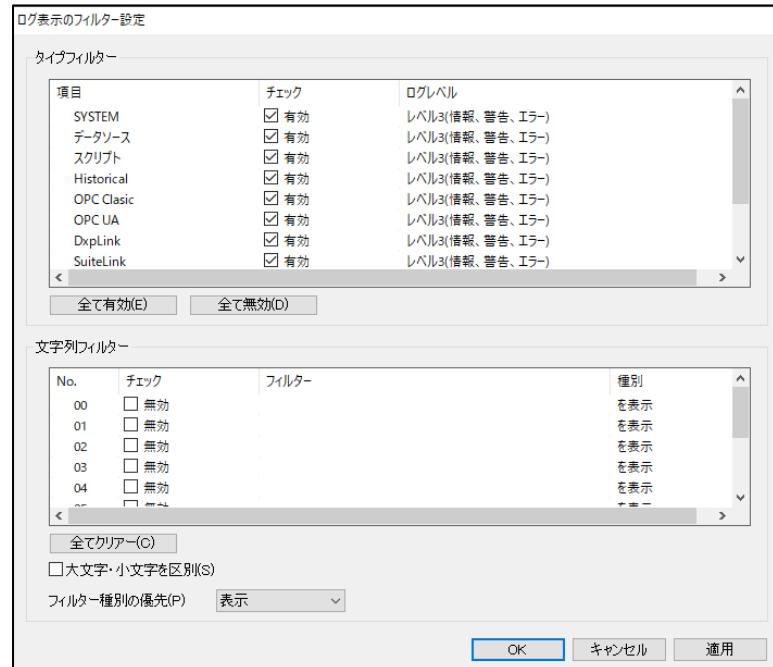
構成プロパティ:



メッセージビュー:



ログフィルター:



2.8 接続性の拡張

接続可能な機器/プロトコルは 100 ベンダー、400 シリーズを超えるまで拡張されました。

今後もバージョンアップ毎に対応機器/プロトコルが変更されます。最新の対応機種についてはマニュアル又は HP の対応機種一覧をご覧ください。

A wide range of device connectivity with high performance communication



PLC	Robot	Machine Tools	Processing Machine
HMI	Remote Terminal Unit	Measuring Instrument	Vision Sensor
Remote I/O	Open Network	Building Equipment	Database

3 新機能の詳細

3.1 IoT インターフェース

IoT インターフェース(MQTT および HTTP)に新たに対応しました。

備考

IoT インターフェースは Ver.7 のプロフェッショナル版のみ使用できます。

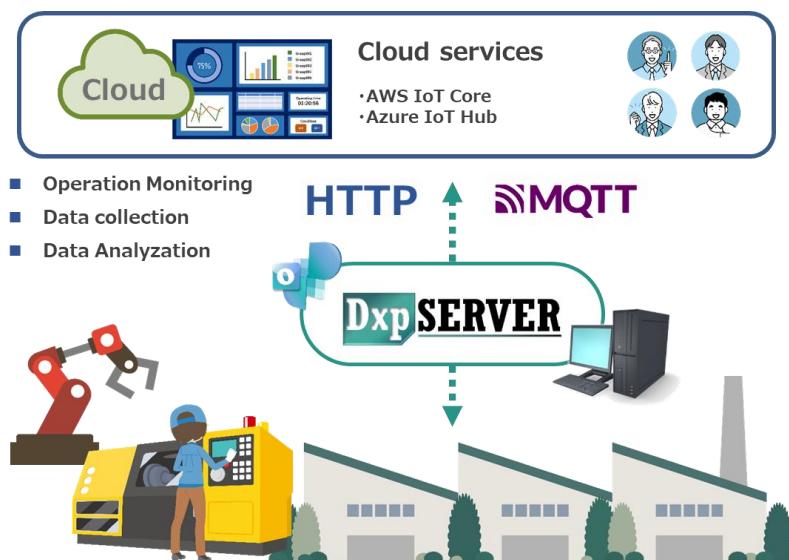
3.1.1 MQTT インターフェース

MQTT のパブリッシャー及びサブスクリーバとして動作できます。

機能	詳細
MQTT パブリッシャー	タグデータを含むメッセージを MQTT ブローカーにパブリッシュすることができます。
MQTT サブスクリーバ	MQTT ブローカーからメッセージ受信し、タグデータを更新することができます。

3.1.2 HTTP インターフェース

HTTP REST クライアントとして動作し、HTTP サーバーに対して GET, PUT, POST, DELETE, OPTIONS, HEAD, TRACE メソッドを送信することができます。



3.2 OPC UA サーバーインターフェース

3つの新しいOPC UA サーバーの仕様をサポートしました。

注意事項

OPC UA “Historical Access” と “Alarms and Conditions” 機能は Ver.7 プロフェッショナルエディションでのみ使用できます。OPC UA Reverse Connect はエディションに関わらず使用できます。

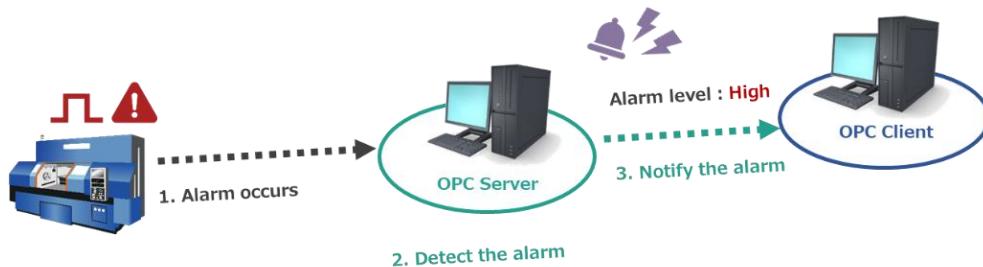
3.2.1 OPC UA Historical Access

タグの値の変更履歴を内部データベースに一時的に蓄積します。蓄積された履歴データは OPC UA クライアントから OPC UA Historical Access によりアクセスできます。



3.2.2 OPC UA Alarms and Conditions

タグアラームを管理することができます、アラーム情報は OPC UA クライアントへ OPC UA Alarms and Conditions により通知することができます。

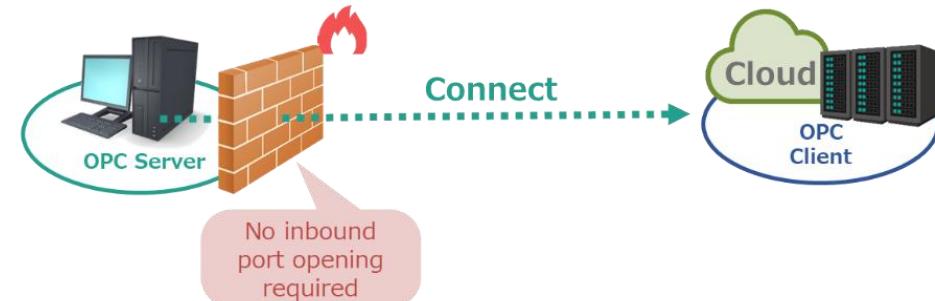


3.2.3 OPC UA Reverse Connect

通常は OPC UA クライアントは OPC サーバーが公開しているポートに対して OPC UA クライアントから接続します。

Reverse Connect では OPC UA クライアントが接続ポートを公開し、OPC UA サーバーから接続します。

これにより、ファイアウォールやルータのセキュリティを回避することができ、クラウドへの接続などをスムーズに行うことができます。



DeviceXPlorer OPC Server

ユーザーズガイド

Ver.5 から Ver.7 への変更手順

